

令和2年度 第2学期 終業式 校長式辞

夏休みを少し早めに切り上げ、8月21日から始まった2学期でしたが、早いもので、本日2学期の終業式を迎えました。新型コロナウイルスの影響で、体育館に一堂に会する君達の姿を見ることはできませんが、最近の君達の授業をはじめとする様子を見るにつけ、4月の入学式や6月の1学期始業式の姿も立派ではありましたが、それとは比較にならないほどに君達の成長を感じます。校長として、本当に皆さんの成長が嬉しいです。

さて、今学期は、新型コロナウイルスの影響で、本来毎年行っている行事がいくつも中止となりました。そのことだけを捉えると、とても残念なことです。しかし、今日は、みなさんに人生の教訓として覚えておいてほしい言葉を紹介します。それは、「転んでも、ただでは起きぬ」です。意味は、たとえ失敗をしたり、不幸な目にあったりしたとしても、必ず何か自分のためになるものを見つけ出し、得ようとするたくましい生き方のたとえです。いつもの行事はなくなりましたが、先生方がみなさんを思い、少しでも普通の授業とは違う学びや経験を通して、成長してくれればとの思いで、1年生はウォークラリーやゲストティーチャーを招いての職業についての学習会を、2年生は卒業生や高校の先生を招いての上級学校についての学習や、1月に予定されているパフォーマンス集会、そして3年生は文化祭を企画し、どの学年も生徒のみなさんと共に、素晴らしい活動を行うことができました。また、今日は放送による終業式ですが、zoomというソフトを使い、生徒会選挙に係る、立会演説会や新入生説明会、保護者会や昨日の1年生の学年集会などを行うことができたことも、「転んでも、ただでは起きぬ」であり、本校の先生方や生徒のみなさんの逞しさによるものだと感じ、また感謝することの多い2学期でした。

今後のみなさんの長い人生の中でも、何か残念な事が起こったとしても、考え方ひとつで、大切なものを得られるということをお忘れずにがんばれる人になってもらいたいと思います。

次に、中学生である生徒諸君には、避けて通れない課題として、自分の人生の進路を考えるということがあります。学年により段階を踏んで、進路について考え、学んでゆく訳ですが、2学期は、先ほど申したように、1年生では職業についての学習を行い、たくさんの職種があることを知り、そのどれもが、社会に貢献していることなど、広く、働くということについて学びます。次に2年生では、1年生での学びの上に、なりたい職業に就くための道筋を調べ、人生を逆算して考え、中学校卒業後の第一歩を考え、多くの生徒が上級学校に進むことから、上級学校についての勉強をしました。そして、3年生ですが、いま、自分の卒業後の進路を切り拓くために、不安と闘いながら毎日勉強に励んでいますね。先日、3年生との校長面接がようやく終わりました。面接の場で、多くの3年生に私はこんな質問をしました。「飯沼中学校はどんな学校ですか」と。すると、ほとんどの生徒から返ってくる答えは、「自然豊かで、自主実行をもとに、生徒全員が仲良く勉強や部

活動に励む学校です」というものでした。私は校長として、みなさんが愛校心を持っていることに、とても嬉しい気持ちになりました。また、「将来はどのように考えていますか」という質問に対し、医療や福祉関係の仕事に就きたいという生徒が多いことに嬉しさと驚きを感じました。「どうしてそう思うのか」と訊くと、「自分の親や祖父母がその職に携わっていて、その姿を見て」という返答が返ってきました。とても素晴らしい家庭環境の基に生まれ育った幸せな生徒だなと思いました。と同時に、将来の夢が、小さな子が抱く漠然とした途方もない夢ではなく、しっかりと地に足をつけた確かな夢であることに感心しました。3年生は、2月26日の県立高校の受験が終わるまでは、クリスマスや年末年始をも含め、残された日々を勉強に打ち込む日々となります。どうか健康に気をつけ、受験を乗り切り、自分の進む道を切り拓いてください。1、2年生もそんな3年生の後ろ姿から多くを学んでください。3年生の後半になって慌てて、進路を考えるのではなく、いまから毎日考えるのです。結論などでない者がほとんどなのは当たり前です。中学時代に答えが見つからないかもしれません。しかし、だからといって、考えるのをやめてしまうことは、逃げている者です。考えて、考えて、悩み、また考える、青春とは自分と向き合い、自分が何者かを問う時間をいうのです。のんびり遊んでいたたり、現実から逃げている時間などないのです。

短い冬休みではありますが、飯沼中学校の生徒全員が健康に気をつけて、令和2年を無事に終え、令和3年が素晴らしい年になることを願います。次は、1月8日に学校で会いましょう。

令和2年12月24日 春日部市立飯沼中学校長